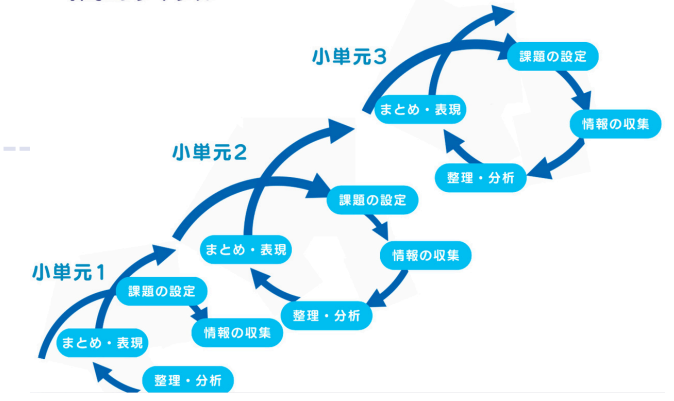


令和5・6年度教育センター研究員活動

【総合的な学習の時間部会】成果物 概要版

探求のサイクル



◆研究主題

つなぐ つなげる つながりあう 生活科・総合的な学習の時間の創造

◆視点と研究の実際

視点1 課題設定や単元構成の工夫 (つなぐ)

(1) 思いや願いを引き出す対象や事象との出合わせ方の工夫

中学1年 「海洋プロジェクト～海洋環境問題の解決に向けて 私たちにできることを考えよう～」

【視点1】課題設定や単元構成の工夫 (つなぐ)

- 海洋環境問題について講話を聞く
- 実際に海を見てみたい!
- 海に行こう!(集団宿泊教室)

(2) 「活動」と「各教科等で身に付けた力」をつなぐ工夫

【視点1】課題設定や単元構成の工夫 (つなぐ)

学校教育目標をもとに年間単元指導計画を作成

校区の公民館と連携

各教科等との関連を把握

視点2 振り返り(リフレクション)の工夫 (つなげる)

(1) 振り返りを書く際の視点の工夫

3年生 福祉「みんなにやさしい町 花園」(60時間)

【視点2】振り返りの工夫 (つなげる)

毎回同じ形式の振り返りカード 共通した3つの観点で自己評価

今日のめあて

やる気

考える

(2) 振り返りを生かした次の探究活動へつなげる工夫

中学2年 「職場体験学習～ナイストライ!働くことを通して、自分を見つめよう～」

【視点2】振り返りの工夫 (つなげる)

達成度

午前の部: 達成できた・まあまあ達成できた・あまりできなかった・できなかった

午後の部: 達成できた・まあまあ達成できた・あまりできなかった・できなかった

視点3 子ども同士のかかわり合いを生み出す工夫(つながりあう)

(1) 子どもの思いや考えを整理する手立ての工夫

3年生 福祉「みんなにやさしい町 花園」(60時間)

【視点3】子ども同士のかかわり合いを生み出す工夫(つながりあう)

思考ツールの活用で 対話を引き出す

(2) 思いや考えを共有する学習環境づくりの工夫

中学2年 「職場体験学習～ナイストライ!働くことを通して、自分を見つめよう～」

【視点3】子ども同士のかかわり合いを生み出す工夫(つながりあう)

職場体験

校外ボランティア

校内ボランティア

◆成果

- 体験の「必然性」を感じさせる単元構成の工夫で、学習が「やらされていること」から「やりたいこと」へ転換しやすい。
- 熊本市役所や公民館等の外部機関との連携によって、指導者の負担を減らしながら子どもの思いや願いの実現につながった。
- 子どもの言葉でつなぐことで子どもがより主体的にかかわれた。
- 「整理・分析」の場面で、思考ツールの活用によって対話の必然性が生まれ、対話が深まった。

◆課題

- △個別の「問い」の解決に十分に対応できなかった。
- △個人の「振り返り」の共有方法に課題が残った。
- △グループ間での対話の深まりに差が大きかった。話し合う内容の焦点化に取り組んでいきたい。